

da Vinci Si使用前・使用中・使用後点検チェックリスト(1)

実施日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

使用科: _____

術式: _____

執刀医: _____

◆使用前点検(SC:サージョンコンソール/VC:ビジョンカート/PC:ペイシェントカート)

良・・・V 交換・・・E 調整・・・A

使用前点検実施者: _____

使用前点検項目	チェック
各コンポーネント(カート)の装置、電源コードに破損や異常がないことを確認	
PCのD(ドライブ)とN(ニュートラル)のシフト切り替えがスムーズで、所定の位置で確実に止まるか確認する	
各コンポーネント(カート)を移動し、手術室内の所定場所へ搬入したことを確認する(所定のハンドル以外の場所を持って移動しないように注意)	
各コンポーネント(カート)配置後は、ロックをし装置が固定されていることを確認する(ペーシェントカートは“D”にしロックする)	
各コンポーネント(カート)の電源コードが、それぞれの電源容量を許容する電源に接続され、コードにテンションが掛かっていないか確認する	
PCをスタンドアローン(電源ON)状態にし、アームを所定の角度に広げた後、電源をOFFにしたことを確認する	
ファイバーケーブル接続部に埃が付着していないか確認する(必要時、エアダスターで清掃)	
ファイバーケーブル接続時にLEDが点灯し、軽く引っ張ってもケーブルが抜けないことを確認する	
各コンポーネント(カート)のいずれかの電源ボタンを押して統合モードで正常に起動する事を確認する	
VC背面のLANポートと手術室内イントラネットLANポートを接続し、モニタにネットワーク接続アイコンが表示されたことを確認する	
VCのタッチモニターにタッチし、タッチ機能が問題なく動作する事を確認	
VCのカメラケーブル、ライトガイドケーブルのビジョンカート側接続部に緩みがないことを確認	
VCのカメラヘッドのスコープ接続部側のレンズが汚れていないか確認(必要時、軟らかい布で清拭)	
VC光源装置のランプボタンがON/OFF可能な事を確認する	
SCのステレオビューアのビューポート、ヘッドレストが汚れていないか確認(必要時、軟らかい布で清拭)	
SCからの音声がVCのスピーカーから出力され、VCマイクからSCスピーカーへ出力される事を確認	
PC各アームのワイヤー、メタルケーブルに破損がないことを確認(メーカー定期点検時に、テンションの確認試験を実施しているためケーブルには触れないように注意)	
PC各アームのキャリッジ部のピンに埃が付着していないことを確認(必要時、エアダスターで清掃)、またピンに破損がなく、スムーズに押し込めるか確認する	
PC各アームのカニューラマウントと、カメラアームのケーブル取付け部に変形、緩みがないことを確認	
PCカメラアームのAxis 3が上下に可動し、スタッグしていないか確認(動かないときは再起動)	
インストゥルメントアダプタをキャリッジにはめ込んだ時に、4つのギアがスムーズに回転し、ハッピーチャイムが鳴ったことを確認	
インストゥルメントアダプタのディスクノッチが適正な位置にあり、ステリアダプタ背面にある4つのピンが突出していないことを確認	
各アームのストラップが適正な箇所(赤テープの位置)で留められているか確認	
各アームがスムーズに可動し、ドレープにテンションが掛かっていないか確認	
各インストゥルメントアームの数字が正面を向き、カメラアームのスイートスポット内に矢印がある事を確認(各アームの関節は、青テープが重なる角度でセッティング)	
カメラアームを中心として各インストゥルメント接続アーム間が拳一つ分(約8cm)間隔が開いているか確認	
各アームのセッティング完了後、全てのアームを最大限上にスライドさせ、オイフを掛けた状態で待機させる	
カメラヘッドとカメラアダプタ接続時に、カチッと音がするまでしっかり締めた事を確認する	
カメラヘッドとエンドスコープを接続し、イルミネータ出力が100%である事を確認し専用紙でWhiteBalanceを実施する	
エンドスコープ先端にアライメントターゲットをはめ込み、3D-Calibrationを3方向実施した事を確認 <input type="checkbox"/> 0° <input type="checkbox"/> 30° Up <input type="checkbox"/> 30° Down	
カメラヘッドに0°のエンドスコープが接続されていることを確認後、エンドスコープ先端にアライメントターゲットをはめ込まれて保管されていることを確認	
VC背面の映像出力端子からTV側コンバータを経由した映像ケーブルが3DTVに正しく接続されている事を確認(青/緑2本接続)	
3DTV映像出力端子に接続されている黄色の映像ケーブルをOLYMPUS記録装置映像入力(SDI-IN)へ接続した事を確認	
3DTVの電源をONにし、カメラ映像が3D映像として正常に表示されている事を確認	
BD(DVD)/HDD記録装置の録画設定が正しく設定されている事と録画記録可能な事を確認	
CO2ポンペを気腹装置に接続し残量を確認後、気腹圧:8mmHg、流量:Low Flowに設定し、正常に送気されることを確認	
指定電気メスに対応する同期ケーブルをVC背面ENERGY端子と電気メスフットスイッチ接続部へ接続した事を確認	
電気メスの出力をMonopolar:30J(PURE)/30J(Flug) Bipolar:25J(Standard)に設定する	

da Vinci Si使用前・使用中・使用後点検チェックリスト(2)

◆使用中点検(SC:サージョンコンソール/VC:ビジョンカート/PC:ペイシエントカート)

良・・・V 交換・・・E 調整・・・A

使用中点検実施者:

使用中点検項目	チェック
各ポート挿入直前にイルミネータをONにし、エンドスコープを温めたことを確認(アライメントターゲットが表示)	
カメラ使用開始時、イルミネータ(光源装置)の出力設定が100%であり、BD/HDD記録装置の録画記録を開始した事を確認する	
ロールイン・ドッキングの際、PCのシフトを“D”→“N”に変更し、操作者と前方確認者2名で正しい位置にセッティングした事を確認	
ロールイン・ドッキング完了後、PCのシフトを“N”→“D”に切り替え、確実にロックされた事を確認	
清潔野の医師がアーム可動域をチェックし、アームが患者に接触しない事を確認	
カメラのケーブル類をカメラアームのケーブル取り付け部にセットしたことを確認	
各アームのカニューラマウントを専用トロカーに接続し、インストゥルメントが正しく取り付けられた事を確認	

録画開始時間 (:)	気腹圧(mmHg)													
	ポンベ残量													
	光源の明るさ(%)													
録画終了時間 (:)	システムの動作状況	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG
	電気メス設定(J)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総手術時間 (:)~(:)	Monopolar													
	Bipolar													
コンソール時間 (:)~(:)	記録装置動作状況	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG	OK・NG
気腹時間 (:)~(:)	記録メディア残時間(min)													
	点検者													
【備考】				【出血量】				【発生したエラー】						
				ml										

※総手術時間、気腹時間、コンソール時間、出血量は看護記録と整合性があるように記録して下さい。

◆使用後点検(SC:サージョンコンソール/VC:ビジョンカート/PC:ペイシエントカート)

良・・・V 交換・・・E 調整・・・A

使用後点検実施者氏名:

使用後点検項目	チェック
ロールアウトは、各アームのカニューラマウントを専用トロカーから取り外し、手術台を頭低位20°に変更したことを確認し実施	
カメラヘッド・ケーブル類に破損がないか、ケーブルを大きくまとめ収納したか確認	
ファイバーケーブルに破損はないか、イリエスタ(キャップ)接続時、緩みがないか確認	
ファイバーケーブルを大きくまとめ(直径32cm以上になるようにまとめる)VC側面に収納したことを確認	
イルミネータ(光源)の光源ランプ稼働時間の確認(1000hrで交換)	稼働時間: h□ 交換実施
各インストゥルメントの残回数をVCにて確認し、インストゥルメント残回数一覧表に記入し、看護師に報告	
HDDの録画可能残時間の確認、BDをファイナライズし提出したことを確認(外付けHDDにも追加記録する事)	
PC各アームのドレープを取り外した後に、キャリッジ部のピン等に破損がないことを確認する	
PCをスタンダアローン状態にし、各アームをたたみ、適正に収納した事を確認	
各コンポーネント(カート)、3DTVを所定の保管場所へ移動し、キャスターロックを掛け固定したことを確認	
PCのバックアップバッテリーを充電する為、AC電源にコンセントを接続したことを確認	

